

よどふあるの友 No.11



『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協・ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。



毎月22日はスワンスワンの日

13:00～13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

次回は、6月22日(火)です。

※参加人数と拾った吸い殻の数をファックスにてお知らせ下さい！



4月22日は7事業所グループ
36人の参加でした

ポイ捨てカウンター

1421ポイ

第2弾

主催：健康友の会&淀協HPH委員会

あなたも何か新しいことはじめてみませんか？

Zoomを使う練習にもなりますよ！



「オンラインわくわく健康体操」



参加者大募集！

あなたも参加しませんか？

コロナ禍の運動不足解消に絶好のチャンス



毎月第4木曜日

午後2時～3時 (途中で休憩あり)

体操の先生：西淀病院リハビリテーション科

奥園優介さん (理学療法士)



第1回目は、主催者側のミスで、うまくつながらないというハプニング！でも…つながった瞬間から、お互いの笑顔が交差して、とっても楽しいオンライン健康体操となりました。テレビと違って、お互いに、お話ができることが楽しかったようです。



お申込、お問い合わせ先 (ご連絡なくご連絡下さい)

- お近くの診療所、介護事業所まで
- または、西淀病院組織課 (健康友の会) 前田、白根まで
TEL06-6472-1141 (代表) FAX06-6475-1672
- メールアドレス: soshikika-hp@yodokyo.or.jp

*頂いたメールに ミーティングIDとパスコードをお知らせします。



今すぐ



申込み

コロナ禍、地域のみなさんに向けた新たな健康増進の取り組みを始めました！
第4木曜日定例です。ぜひ、お声かけください。



「無理かもしれない。それでも私たちは “誰も犠牲にならない社会を作りたい”」



宝楽陸寛さん（NPO SEIN代表）講演の報告

2021年4月15日に地域連携のための法人学習会があり、特定非営利法人（NPO法人）SEINコミュニティLAB所長の宝楽陸寛さんから「無理かもしれない。それでも私たちは“誰も犠牲にならない社会を作りたい”」というタイトルで講演して頂きました。宝楽さんは昨年秋のJ-HPHカンファレンスで講演されました。地域のコミュニティ再生プロジェクト話に、私も淀協副理事長の長瀬さんも大変感銘を受けて是非、淀協の職員にも話を聞いてほしいと思い講演を依頼しました。

宝楽さんが活動されているのは、堺市の南部に位置する泉北ニュータウンです。地域の中間支援組織をつなげるコーディネーターとしての役割や、地域の現状を把握し、地域のニーズに即した活動を繰り返し広げられています。まずフェーズ1で地域を分析し、地域の問題点をあげ、テーマを選定、問題分析、その問題に対応できるプレーヤーに声をかけ（例えば元看護師、元栄養士など）、フェーズ2で参加者が問題点を共有化し、フェーズ3では、その事業計画、設計、資源調達し、フェーズ4で事業の施行、実行、定例会議を実施し評価改善し、地域の活性化のコミュニティ復活の伴走者としての役割を担っています。実際の活動としては、その地域に住んでいても無関心の人にも関心をもってもらうように企画をし、泉北NTまちびらき50周年事業を開始、関心強化アプローチとして団地の集会所を利用して“丘の上惣菜屋さんやまわけキッチン”を起業し、泉北のまちと暮らしを考える財団の立ち上げをされています。また地域の人の居場所づくりとして団地のなかに“茶山台としょかん”をつくり、子育て中のママや近所のお年寄りの集いの場となり、下校時間になると子供たちが帰るとき立ち寄る場となりそこで宿題をしたりゲームをしたりと思い思いの時間を過ごします。ほかにも本当に多くの活動をされています。

コロナ禍の中では即子供たちの生活のことを考えLINEを利用しアンケートを施行し、臨時休校中の食事の問題ではお弁当を配食したり、コミュニケーション不足に対しては屋外で子供が集まれる場所を作ったりと素早く活動に移されています。

活動を進めるためには、資金問題が大きいのしかかります。淀協中心に現在フードバンクを行っていますが、続けていくためには資金が必要です。SEINではクラウドファンディングで目的に合わせた基金を募って資金調達もされています。泉北ニュータウンにフードバンクも作る予定だそうです。継続した活動を進めるためには、場当たりに活動を進めるのではなく、地域のニーズを地域診断して把握し、テーマを決めたら、それにかかわっていく人たちと協力し計画を立てて、運営、資金調達についても綿密に設計し、試行、実行、評価していくことが大切だと思いました。また、寶楽さんの話から、実行するための強いエネルギーを感じ、とても勇気づけられました。

報告：結城由恵 淀協・ファルマHPH委員会 委員長



発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)



日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services